



2021年12月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

2021年8月11日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部
 コード番号 5610 URL <https://www.daiwajuko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 宏典
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部 管理部長 (氏名) 氏原 卓也 TEL (082) 814-2101
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,327	△ 20.4	△ 189	—	△ 136	—	△ 137	—
2020年12月期第2四半期	1,666	△ 25.4	△ 153	—	△ 98	—	△ 254	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△ 104.52	—
2020年12月期第2四半期	△ 187.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	5,546	2,533	45.7	1,924.61
2020年12月期	5,735	2,669	46.5	2,027.49

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,533百万円 2020年12月期 2,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では期末配当の当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,000	△ 5.6	△ 280	—	△ 170	—	△ 170	—	△ 129.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 2 Q	1,358,000株	2020年12月期	1,358,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	41,494株	2020年12月期	41,474株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 2 Q	1,316,523株	2020年12月期 2 Q	1,354,526株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスク	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済が回復傾向にある中で、国内における経済活動も徐々に正常化に向け動き出しました。一方で新型コロナウイルス感染拡大により10都道府県に対し、3回目の緊急事態宣言が発令され、その後、9都道府県は解除されたものの、新たに新型コロナウイルス変異株の感染拡大など、今後については予断を許さない状況です。

こうした状況の中で、当社の受注状況において4月以降は回復基調となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は13億27百万円（前年同期比20.4%減）、営業損失は1億89百万円（前年同期は1億53百万円の営業損失）、経常損失は1億36百万円（前年同期は98百万円の経常損失）、四半期純損失は1億37百万円（前年同期は2億54百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

〈産業機械関連〉

日本工作機械工業会による工作機械主要統計では2021年1月から2021年6月の工作機械の受注累計額は7,020億87百万円と、前年同期に比べ71.2%の増加となっております。

このような中、大型鋳物を得意とする当社の工作機械鋳物部品の同期間における受注高は前年同期比8.1%増の3億18百万円となりました。

ディーゼルエンジン部品の分野は、受注高が前年同期比71.4%増の1億74百万円となりました。

産業機械部品の分野においては、コロナ禍でのWEBによるオンライン営業の強化や、企業の設備投資による需要の回復基調を受け、受注高は1億38百万円と前年同期と比べ187.6%の増加となりました。

この結果、当セグメントの受注高は8億23百万円と前年同期比40.8%の増加、売上高では5億8百万円と前年同期比36.0%の減少となりました。

〈住宅機器関連〉

住宅機器関連の分野は、鋳物ホーロー浴槽の他、「わの湯」や五右衛門風呂をはじめとした、やまと風呂の販売に向けた営業を強化しております。

この結果、当セグメントの売上高は8億19百万円と前年同期比6.1%の減少となりました。

秋には新製品として高級和風鋳物ホーロー浴槽が発売予定であり、今後の売上拡大に注力して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、55億46百万円となり、前事業年度末に比べ1億89百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金は88百万円増加したものの、電子記録債権が1億63百万円減少、未収入金が1億円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、30億13百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が12百万円減少、短期借入金が31百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、25億33百万円となり、前事業年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金が1億37百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ28百万円増加して、8億25百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、50百万円（前年同四半期は11百万円の収入）となりました。

これは主に税引前四半期純損失1億36百万円を計上した一方、売上債権の減少が75百万円及びその他の収入が93百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、10百万円（前年同四半期は7百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出が31百万円あった一方、投資不動産の賃貸による収入が53百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、33百万円（前年同四半期は1億48百万円の収入）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が33百万円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績を勘案し、2021年2月12日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

2021年12月期通期個別業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,300	百万円 △250	百万円 △150	百万円 △150	円 銭 △111.37
今回修正予想 (B)	3,000	△280	△170	△170	△129.13
増減額 (B-A)	△300	△30	△20	△20	
増減率 (%)	△9.1%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	3,179	△294	△184	△360	△267.78

(4) 事業等のリスク

東京証券取引所の上場廃止基準について

上場廃止基準への抵触については、2021年3月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となったことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準には該当しないこととなり、上場廃止基準に係る猶予期間入りの指定が解除されました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,771	1,245,990
受取手形及び売掛金	717,764	806,515
電子記録債権	310,209	146,289
商品及び製品	347,756	337,973
仕掛品	36,734	76,752
原材料及び貯蔵品	197,775	192,636
前払費用	784	927
未収入金	106,575	6,200
その他	2,075	896
流動資産合計	2,937,447	2,814,182
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	499,720	473,330
機械及び装置(純額)	267,935	241,134
土地	345,427	341,282
その他(純額)	122,175	101,262
有形固定資産合計	1,235,259	1,157,010
無形固定資産	7,785	6,792
投資その他の資産		
投資有価証券	1,327,393	1,327,660
投資不動産(純額)	151,306	163,996
その他	81,882	82,424
貸倒引当金	△5,150	△5,150
投資その他の資産合計	1,555,432	1,568,931
固定資産合計	2,798,477	2,732,734
資産合計	5,735,925	5,546,917

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	437,547	424,700
短期借入金	1,653,900	1,622,869
未払法人税等	811	5,587
賞与引当金	6,000	8,000
その他	167,131	133,151
流動負債合計	2,265,390	2,194,307
固定負債		
長期借入金	2,260	—
繰延税金負債	159,168	155,213
退職給付引当金	497,102	517,935
役員退職慰労引当金	67,587	67,362
資産除去債務	19,053	19,057
長期預り敷金	56,115	59,285
固定負債合計	801,287	818,854
負債合計	3,066,678	3,013,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,501,647	1,364,049
自己株式	△34,730	△34,746
株主資本合計	2,272,290	2,134,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	396,956	399,077
評価・換算差額等合計	396,956	399,077
純資産合計	2,669,247	2,533,754
負債純資産合計	5,735,925	5,546,917

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,666,292	1,327,195
売上原価	1,485,293	1,195,530
売上総利益	180,999	131,664
販売費及び一般管理費	334,215	320,725
営業損失(△)	△153,216	△189,060
営業外収益		
受取利息	20	4
受取配当金	18,407	13,639
受取地代家賃	50,449	54,236
その他	1,071	2,888
営業外収益合計	69,949	70,769
営業外費用		
支払利息	5,752	6,439
不動産賃貸関係費	9,549	11,054
その他	61	318
営業外費用合計	15,363	17,812
経常損失(△)	△98,630	△136,104
特別利益		
災害による保険金収入	3,148	—
特別利益合計	3,148	—
特別損失		
固定資産処分損	—	425
特別損失合計	—	425
税引前四半期純損失(△)	△95,481	△136,530
法人税、住民税及び事業税	1,067	1,067
法人税等調整額	157,722	—
法人税等合計	158,790	1,067
四半期純損失(△)	△254,271	△137,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△95,481	△136,530
減価償却費	70,484	69,514
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,642	20,832
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,125	△225
受取利息及び受取配当金	△18,427	△13,644
支払利息	5,752	6,439
有形固定資産処分損益(△は益)	—	425
投資不動産賃貸収入	△49,480	△53,338
投資不動産賃貸費用	9,478	11,054
売上債権の増減額(△は増加)	416,842	75,168
たな卸資産の増減額(△は増加)	44,156	△25,095
仕入債務の増減額(△は減少)	△220,205	△12,847
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,882	△16,087
その他	△66,153	93,101
小計	42,854	20,769
利息及び配当金の受取額	18,413	13,640
利息の支払額	△5,986	△6,587
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△43,549	22,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,731	50,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
投資有価証券の取得による支出	△2,324	△2,100
役員保険積立金の積立による支出	△1,920	△1,908
役員保険積立金の解約による収入	—	2,043
有形固定資産の取得による支出	△44,101	△31,349
無形固定資産の取得による支出	△2,375	△220
資産除去債務の履行による支出	△41	△40
投資不動産の賃貸による収入	49,480	53,338
投資不動産の賃貸による支出	△6,623	△8,090
その他	—	△676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,906	10,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,911	△33,291
配当金の支払額	△6,898	△3
自己株式の取得による支出	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	148,190	△33,310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	152,016	28,219
現金及び現金同等物の期首残高	784,899	797,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	936,916	825,990

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。